

予 算 決 算 常 任 委 員 会

1. 日 時 平成30年9月14日（金）
午前9時30分 開会 午前11時42分 休憩
午後0時59分 再開 午後3時05分 閉会
平成30年9月25日（火）
2. 場 所 本会議場
3. 出席委員 **【予算決算常任委員会】**
灰田昌典委員長、宮西健吉副委員長、南藤陽一委員、井田秀喜委員
木下裕介委員、新田寛之委員、吉村範明委員、浅村起嘉委員
梅田利和委員、吉本慎太郎委員、高野哲郎委員、片山瞬次郎委員
出戸清克委員、二木攻委員、宮川吉男委員、川崎順次委員
橋本米子委員、表靖二委員、浅野清利委員、北出隆一委員、杉林憲治委員
4. 欠席委員 なし
5. 委員会の議題
議案第64号 平成30年度小松市一般会計補正予算（第3号）
議案第65号 平成30年度小松市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
議案第66号 平成30年度小松市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
議案第67号 平成30年度小松市公債管理特別会計補正予算（第2号）
議案第73号 専決処分の承認を求めることについて
議案第74号 平成29年度小松市歳入歳出決算の認定について
議案第75号 平成29年度小松市公営企業会計決算の認定について
議案第76号 平成29年度小松市公営企業会計未処分利益剰余金の処分について
6. 委員長報告の要旨

【予算について】

■議案第 64 号 平成 30 年度小松市一般会計補正予算（第 3 号）について

防犯交通安全推進費については、わがまち防犯隊員の増加や地域での防犯意識の高まりを受け、わがまち防犯隊の更なる活動環境の向上を図るため、隊員からのニーズが多いジャンパー等の装備品を拡充するものであります。

登下校時の児童の見守りや交通安全指導、不審者への警戒など、こども達の安心・安全に多大な貢献をしているわがまち防犯隊に対しては、今後もしっかりとバックアップしていくよう求めました。

■観光ブランド力・誘客推進費については、スマートフォンなどで利用できる多言語に対応した観光おもてなしの窓口として、多言語 AI コンシェルジュを導入する経費とのことであります。AI 技術の活用に先進的に取り組むのはよいことではありますが、めまぐるしく技術が進化する情勢の中、選定時には広く情報を収集し導入するよう求めました。

■北前船歴史文化発信プロジェクト費については、日本遺産に認定された安宅湊発信シンボルとして米谷家跡地公園に石のモニュメント等を整備する経費とのことでありますが、シンボル整備や安宅のまちづくり全体について、今一度、地元理解を深めて実施するよう求めました。

■こまつドーム屋外運動場改修費については、こまつドームの屋外運動場に、観覧スタンドと防球ネットを設置する経費であります。観覧スタンドはスペースを有効利用できる移動式であり大いに活用を期待しますが、維持管理については、使用する協会などと連携を密に、様々な状況を想定し事故等が起こらないよう安全強化に努めるよう求めました。

■議案第 73 号 専決処分の承認を求めることについて中、専決第 4 号 平成 30 年度一般会計補正予算（第 2 号）について

芸術劇場管理運営費については、管理事務室系統の氷蓄熱式エアコンの更新費用とのことであります。公演時等、突発的に起こるトラブルは市の信用にも関わりますので、猛暑時に事務室エ

アコンが故障したということを教訓に、施設使用に支障をきたさないように、しっかりとした点検・管理を行うことを求めました。

【平成 29 年度決算について】

■議案第 74 号 平成 29 年度小松市歳入歳出決算の認定について

防災行政無線整備費については、有線放送設備を無線化し、各家庭に個別受信機を設置する事業を実施したものであり、平成 25 年度から開始し平成 29 年度で事業が完了したものであります。防災無線は、防災情報はもちろん、市からのお知らせや、町内のコミュニティー放送としても重要性が増しており、また全国的な防災意識の高まりによって、防災行政無線の需要が高まっている中メーカーにおいて在庫が不足し、転入された市民の方より不満の声が寄せられています。市民の方が安心・安全な生活を過ごせるようにすることが行政の努めであり、想定外の災害に備え、人命に関わる重大な問題と認識し、早急に待機期間なく設置していくよう対応を強く求めました。

■情報管理費について、先日の 9 月 9 日には、国道 416 号線が開通しましたが、新保・丸山周辺地域の携帯電話の電波は良いとは言えない状況であります。今後交通量の増加が見込まれ、緊急時などにおいて支障をきたす恐れもあることから、通信環境の整備・改善を求める意見が出されました。

■収納率向上対策費については、コンビニ納税や口座振替の手続きがキャッシュカードを用いて市役所窓口において簡単にできるサービスなど、納税環境の整備等が進んだことなどにより、平成 29 年度の現年分の収納率は、市税は 99.21%、国民健康保険税は 95.74%となり、収納率が向上したとの報告がありました。

これまでの努力によるものであり、大変喜ばしいことであります。

引き続き、納めやすい環境により収納率が向上するよう期待するものであります。

■主任児童委員活動費については、一部の校下における児童数の増加に対応していくためにも、県に対し、主任児童委員の増員を要望していくよう求めました。

■がん対策費については、がん検診受診率の更なる向上のため、今後も受診しやすい環境づくりに工夫を重ねていくよう求めるとともに、全国的に高齢者の罹患率が高い結核については、市民への情報の周知と受診の啓発に努めるよう求めました。

■健康づくり・予防連携推進費については、健康長寿社会を目指し、あらゆる角度からデータ取りを
するとともに、それに基づいた健康づくり事業の強化や横断的な組織連携による予防政策の更なる
推進を求めました。

■高齢者総合相談センター費については、地域の高齢者の介護や福祉などの総合的な支援や見守り活
動など、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに大きな役割を担っている高齢者総合相談センター
に対して、今後もしっかりとバックアップしていくよう求めました。

■訪問型サービス事業費については、住民主体型の地域サポートクラブの協力会員が前年度よりも減
少している半面、利用人数は増加していることから、今後もしっかりと協力会員を確保していくよ
う求めました。

■観光ボランティア推進費については、小松観光ボランティアガイドの会「ようこそ」の学習会やガ
イド養成講座等に要する経費とのことであります。

小松市の顔となる大変な仕事であるボランティアについては、深い知識が必要であり、今後は費
用対効果を検証し、若者世代も含めた人材を確保できる体制づくりを構築していくよう求めました。

■市内コンベンション開催費については、コンベンションや合宿等の補助に要する経費とのことであ
ります。合宿での利用実績は増えてきておりますが、サイエンスヒルズこまつなど市内施設や粟津
温泉の活用につなげていくためにも、スポーツ合宿にとどまらず、MICEの誘致など幅広いPR
活動を行っていくよう求めました。

■緑の少年団育成費については、市内25の緑の少年団が行う環境保全活動等に要する経費であり、
植樹祭後もブロック活動や個々の活動などに熱心に取り組まれているとのことでありますので、今
後も継続して活動するためにも、一定の予算規模を維持して支援するよう求めました。

■鉄道高架下活用費については、JR高架下の土地賃借料とのことでありますが、IRの運営に切り
替わる機会に、賃借料をしっかりと交渉するよう求めました。

■道路維持管理費については、街路樹の維持管理や側溝清掃により生じた泥の処分手数料などにかか
る経費とのことでありますが、街路樹の根により盛り上がっているなどの痛んだ歩道が見られるこ
とから、車道だけではなく歩道にも目を向けることと、市民から届く情報に応えた安全な道路管理
に努めるよう求めました。

■北陸新幹線建設推進費については、新幹線の負担金支出について一部の委員より反対であるという

意見が出されました。

■議案第 75 号 平成 29 年度小松市公営企業会計決算の認定について

病院事業収益のうち入院収益については、病床利用率が入院収益に大きな影響を与えることから、病床利用率を向上させるよう求めました。

■本年度の機構改革においては、国際都市推進課の業務が 4 課に引き継がれていますが、分かりやすく丁寧に説明するよう求めました。また、市民が混乱しないように国際交流の窓口を分かりやすくしてほしいという要望もありました。